

十字会報 モニカ



発行所
福岡地区カトリック女性の会 広報部
〒810-0052
福岡市中央区大濠1丁目7番14号
大濠カトリック会館

私は道であり、真理であり、命である

ヨハネ 14. 6

第34回福岡地区女性の会総会開催

来住英俊神父



住英俊神父のお話がありました。

講演を聞いて

浄水通教会 荒川 優子

私は、来住神父様の著作「目からウロコ」シリーズのファンです。今回の講話を心待ちにしていました。

福音とは、まず、自分にとっての良い知らせであり、叱咤激励の勧めであってはいけない。自分にとっての良い知らせとは、①今の自分が肯定されていること②共に成長していこうという励ましを与えてくれること③生活を変革する知恵を与えてくれること。言いつばなし、聴きつばなしでは、実りが少ないこと。(まさに、私の事です。)

そこで、神父様は、キリスト教的勧めを「常にそれを実行せよ。」ではなく「たまには、やってみるか。」と、自由な心(聖霊の促し)で考えるという一つの知恵を教えてくださいました。なるほど。でも、そんなな自分に都合のよいことではないのかな?と疑心暗鬼でしたが、ちょっと最近の

4月22日(土)

大名町教会一階講堂にて、約129名の参加で総会が開催されました。「たまにはやってみるか」をテーマに

自分を振り返ってみました。

私は、四月から朝ミサに与かっています。理由は、決して真摯なものではありません。しかし、与かるうちに祈りに対しての発見や気づきが沢山あり、楽しくて仕方ありません。本当ですよ。(笑)。「たまには」から「いや、毎日」と思うようになりました。こんな自分に、正直自分自身を驚かせています。神父様のおっしゃる通りなんです。不思議です。総会の内容も講話も「目からウロコ」の体験満載でした。神に感謝。

委員活動を振り返って

光丘教会 角田 茂子



2011年3月東日本大震災、そして2016年4月福岡でも揺れた熊本大分地震。これらの大震災で私達は「いのちの尊さ」と復興の為、前を向いて立ち上がった人達からたくさん事を学びました。一方種々の報道で伝えられる幼い子供達の脅かされる命。また世界では戦争で多くの死傷者、そして避難民の苦しい生活等々。心がざわざわします。そんな状況の中、私達は女性の会の活動として「私達に出来る事」を考え、親子の関わりを前面に据えて来ました。皆様のご協力に感謝いたします。

委員研修の中でオカロール神父様は「何かを作り上げるにはエネルギーがいる」と話されました。その通りですね。自分の体力、気力、家庭の事情等考えるとなかなか一歩が出ない。でも神様から頂いた私の「いのち」をお返しするために「たまにはやってみるか」(来住神父様講演)と一歩を踏み出したい。また古巣神父様が高山右近の生き方を通して示唆された「福音は理屈ではない。日本に福音が宿る方法は教会が癒しの役割をする事です」を心に留めこれからの歩みにしたいと思っています。主の平安がすべての人にしみわたりますように。皆様に感謝します。

半期活動と今後の予定

2017年

4月12日(水)

聖香油ミサ

モニカ誌59号発行

4月22日(土)

第34回総会

5月16日(火)

18日(木)

日力連総会(仙台)

6月 委員研修

8月26日(土)

モニカ祭

モニカ誌60号発行

11月3日(金)

神学院祭協力

11月23日(木)

教区の日協力

12月 講演会

2018年

1月 新年会

2月 ボランティア

交流会協力

スープレの会協力

3月28日(水)

聖香油ミサ

日本カトリック女性団体連盟 第43回仙台総会に参加して

生田 三重子（西新教会）

新緑の美しい仙台のカトリック元寺小路教会
で、五月十六日から十八日まで日力連総会が行わ
れました。私共福岡教区女性の会は、会長を初め
とする八名で出席致しました。仙台の方々の温か
いおもてなしにとても感激の三日間。「絆」神の
愛を共に生きるをテーマに、第一日目は総会、懇
親会。全国より集まった女性の会メンバー、顔馴
染みの方々と再会を喜び合い、和やかな内に第
一日目が終わりました。

第二日目は東日本大震災北被災地（東松島・石
巻）視察にバス二台が用意され、約百名程の会員
が、それぞれのバスに乗り込み、最初の東松島
へ。バスの中では神の慈しみの中で被災地視察が
行われます様にと、安全を願い、主の祈りを皆と
心合わせてお祈り。最初に仮設住宅を視察、テレ
ビ等を見て知っていた筈でしたが、その粗末さと
狭さに驚き、ここで生活のご苦労がどれ程のもの
であったかが分かりました。それから東松島震
災伝承館へ。ここでは、DVDで、三月十一日当
日の被災のむごさを見、本当に自然災害の恐ろし
さ、怖さが身に染みしました。心が震えるほど辛い
思いました。語り部の方が仰っていた、宮の森小
学校では流れ着いた車と死体で一杯だった事等、
聞くに耐えぬ事ばかり、その後石巻に移動して津
波遺構の前で献花、そして皆様で東日本大震災の
祈りを亡くなられた方々の為にお捧げしました。
続いて石巻教会を訪問し、主任司祭の会津神父様
のお話を聞き、石巻復興の様子等を伺いました。

帰りのバスの中では、一日の振り返りを感謝の中
にロザリオの祈りを唱え、バスは元寺小路教会
へ。

第三日目は、元寺小路教会大聖堂に於いて、
仙台教区長の平賀徹夫司教様による講演と派遣
ミサ、来年開催地の新潟教区にペナントの引き
継ぎを行い、また来年お会いしましょうとお別
れをしました。今回の被災地視察では、まだま
だ復興されていない事実
を知り、私達キリスト者
として何が出来るのか、
自分自身もっと深く考え
行動していきたいと思う
参加となりました。



仙台教区長の平賀徹夫司教様による講演と派遣ミサの様子

六月の委員研修

「教区について知っていますか。」

六月六日の例会で、青木悟神父様により四十
分の勉強会を持ちました。日本には十六教区あ
り、十六人の司教を牧者として信者は集ってい
ます。福岡教区は福岡県、佐賀県、熊本県から
成り、五地区に五十五の小教区があります。私
達は小教区の教会を土台に
教区の中で信仰の道を歩ん
でいます。女性の会は五地
区の中にあり、司教に任命
された司祭の霊的指導の下
に活動しています。（福岡
地区女性の会の位置づけが
よく理解できた感謝の勉強
会でした。）



青木悟神父と新委員

2017 年度カトリック女性の会 新委員です
よろしくお願い致します

指導司祭

サトル二ノ・オチョア神父
（イエズス会）

編集後記

全員が新広報委員で、緊張しながら
の初編集でした。これからも「私達
に出来る事」をテーマに緊張感を失
わず編集に励んでまいります。

広報委員一同